

エコアクション21

環境経営レポート



望月経営労務管理事務所

活動期間： 令和4年1月～令和4年12月

作成日： 令和5年7月21日 [第十三版]

目次

ページ	
3	環境経営方針
4	事業所の概要・内容
5	エコアクション実施体制・組織図
6	今期の環境経営目標及び実績
7	今期の環境経営計画及び実績、取組結果と評価及び次年度の計画
8	『電力消費量』削減への活動・取組
9	『ガソリン使用量』削減への活動・取組
10	『紙使用量』削減への活動・取組
11	環境関連法規の遵守状況、違反・訴訟の有無
12	代表者による全体の評価と見直し・指示
13	環境活動写真
14	緊急事態の想定結果 及び対応（火災）
15	緊急事態の想定結果 及び対応（大地震）
16	外部とのコミュニケーション記録

環境理念

深刻化する地球温暖化や森林資源の枯渇等の環境問題に対し、
我社は、サービスの品質向上、許認可等手続きの効率化を通し、
お客様の発展に貢献します。

また、環境負荷の低減を図るために、資源の有効利用を図り、
社員一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

行動指針

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

①二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）

・電力 ・自動車燃料

②廃棄物の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）

・一般廃棄物（紙類）

③地域での環境活動への積極的な参加（社会貢献）

④排水量の削減（水資源の保全）

⑤グリーン購入の推進

⑥自らが生産・販売・提供する製品サービスに関する項目

・エコアクション21取得補助

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。



制定日：平成 21 年 3 月 1 日

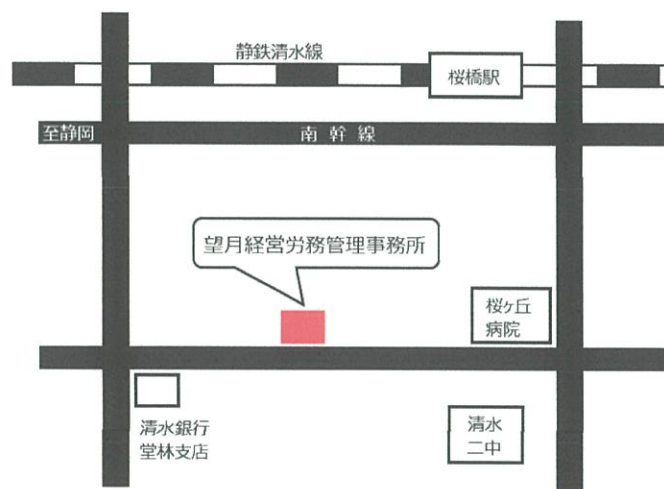
改訂日：平成 31 年 1 月 7 日

望月経営労務管理事務所

望月 敬介

事業所の概要

事業所名 望月経営労務管理事務所
代表者 望月 敬介
所在地 静岡県静岡市清水区堂林一丁目2番9号



連絡先 電話:054-368-5598 FAX:054-352-6777
メール:mochi-rou@tokai.or.jp
HP: <http://www.mochizuki-office.com>

☆環境管理責任者(連絡先担当者) 鈴木 啓太

事業内容

中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士 業

官公庁への各種届出や申請の代行、事業主様からの労務相談、経営相談を業務としています。

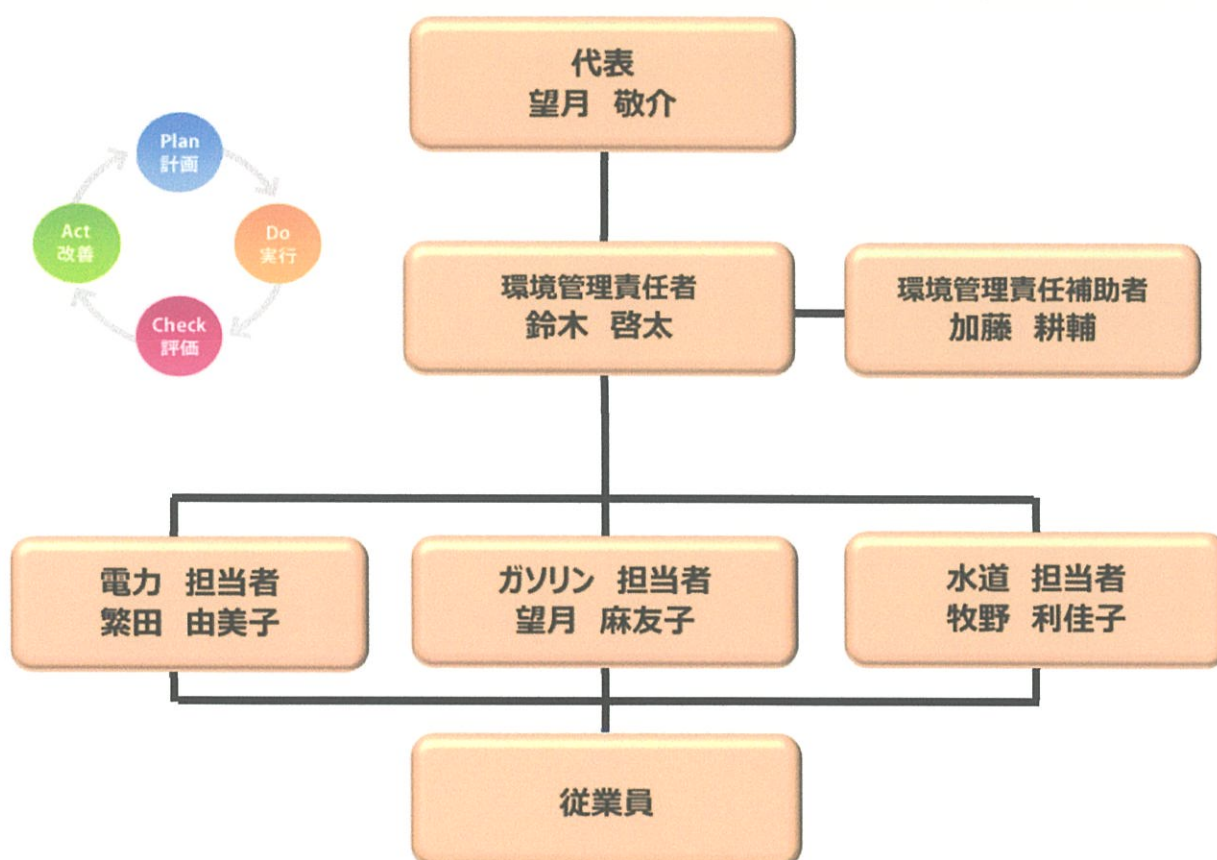
2022年度

従業員数 8 名

床面積 125 m²



エコアクション実施体制・組織図



担当・役割

代表	◎環境方針の策定 ◎環境管理責任者の指名 ◎全体的な取組状況の評価・見直し ◎資源の準備
環境管理責任者	◎システムの統括責任者としての役割権限を他の責任に関わらず持つ ◎システムの実績を代表者に報告 ◎全体計画の立案・事務管理・文書作成及び実施状況の記録・確認 ◎各データの取りまとめ及び環境活動レポート作成 ◎システムの適合性・運用状況を監視・監査 ◎代表者の求めに応じて内部監査
各担当者 従業員	◎各々担当している活動項目のチェック ◎活動の実績報告・提案

今期の環境経営目標及び実績（令和4年1月～令和4年12月）

項目	単位	基準値 15年実績値	22年目標値 (-7%)	22年実績値	達成度 及び 削減率 (増加率)
二酸化炭素 排出量の削減 (購入電力)	kWh	11,767	10,943	11,504	△ -2%
二酸化炭素 排出量の削減 (ガソリン)	L	1,175	1,093	444	○ -62%
二酸化炭素排出 量 合計	kg-CO2	8,246	7,669	6,573	○ -20%
廃棄物排出量 の削減 (白上質紙)	kg	52	48	64	× 23%
水使用量の削減	m³	58	58	-	○ #VALUE!
グリーン商品 購入件数	品	8	10	10	○ —
エコアクション21 取得補助件数	件	3	4	0	× —
顧客の生産性向 上、経営の合理 化、事務の効率化	件	-	-	0	× —

※削減率＝20年実績値／基準値。今期目標値(-5%)よりも削減率が高い場合、達成度を○とする

※購入電力の排出係数は「0.482」(中部電力2015年)を使用

※排水量の基準値(2015年実績値)は、2015年6月～12月の実績を基に算出している

来期以降の環境経営目標

項目	単位	基準値 15年実績値	23年目標値 (-8%)	24年目標値 (-9%)	25年目標値 (-10%)	26年目標値 (-11%)	27年目標値 (-12%)
二酸化炭素 排出量の削減 (購入電力)	kWh	11,767	10,826	10,708	10,590	10,473	10,355
二酸化炭素 排出量の削減 (ガソリン)	L	1,175	1,081	1,069	1,058	1,046	1,034
二酸化炭素排出 量 合計	kg-CO2	8,246	7,586	7,504	7,421	7,339	7,256
廃棄物排出量 の削減 (白上質紙)	kg	52	48	48	48	48	48
水使用量の削減	m³	58	58	58	58	58	58
グリーン商品 購入件数	品	8	10	10	11	11	11
エコアクション21 取得補助件数	件	3	4	4	4	4	4
顧客の生産性向 上、経営の合理 化、事務の効率化	件	-	-	-	-	-	-

※購入電力の排出係数は「0.482」(中部電力2015年)を使用

※排水量は、2015年6月～12月の実績を基に算出している

今期の環境経営計画及び実績、取組結果と評価及び次年度の計画

(令和4年1月 ～ 令和4年12月)

行動指針	具体的目標	取組内容	取組結果と評価	次年度の取組計画
(二酸化炭素排出量の削減)	電気使用量 -7%	1. エアコンの温度管理(夏期28℃、冬期23℃) 2. 扇風機の効果的な利用 3. クールビズ・ウォームビズの推奨 4. 残業時間の短縮 5. PC・蛍光灯の不使用时電源OFF	目標は達成できなかった。 主な理由は、夏場の酷暑によりエアコンの使用量が大幅に増大した。扇風機をもっと有効活用できていなかった。	クールビズ・ウォームビズの推進 エアコンの温度管理等は、気温及び体調等に応じて柔軟に対応していく。
	ガソリン使用量 -7%	1. 急発進・急停車・アイドリングしない 2. 外出時のルート確認 3. 外出先・スケジュールの管理と共有	目標は達成できた。 主な理由は、コロナによる外出自体の減少に加え、外出時の交通経路の確認やアイドリングをしないこと等エコドライブを徹底したことによる。	現在の活動を継続していく。 電話やメールで済ませられる事については継続していく。
(循環型社会への対応)	紙廃棄量 -7%	1. 印刷出力時プレビュー確認の徹底 2. 重複出力のないようメール・FAXの出力報告 3. コピー用紙の両面使用 4. 2in1コピーの推奨 5. 資料の簡素化(資料枚数の削減) 主な理由は、新規従業員の採用により、チェック	目標は達成できなかった。 主な理由は、コロナ禍による手続きの増加及び新人教育により、絶対量が増えたためで、廃棄率は上がっていないと思われる。	取り組みは出来ている。 引き続き、印刷前の確認の徹底や、2in1コピーの効果的利用をさらに促進していく。
社会貢献		1. 資源ごみの分別 2. 事務所周辺の清掃活動	取組できた 事務所周辺の清掃活動を行った。	現在の活動を継続していく。
(水資源の保全)	水使用量 -7%	1. 節水表示をする 2. マイボトルの持参	取組できた。	現在の活動を継続していく。
グリーン購入の促進	10品	1. グリーン購入法適合商品(エコ商品の購入)	取組できた。	現在の活動を継続していく。
フロン排出抑制		1. 業務用エアコンの簡易点検(3か月に一回)	取組できた。	エアコンの効率性のためにも、定期的な点検及び清掃を続けていく。
その他	4件	1. エコアクション取得補助 取得提案・取得補助 継続支援 2. 事務所全体での環境意識 行動指針ごとの担当管理制	相談は受けながらも、取得までには至らなかった。 担当制での管理が去年よりも浸透してきた。	現在の継続支援を続けながら、EA21以外の経営相談とも組み合わせしていく。 新入社員に対する環境教育を随時行っていく。

※削減比は2015年を基準とする

『電力使用量』削減への活動・取組

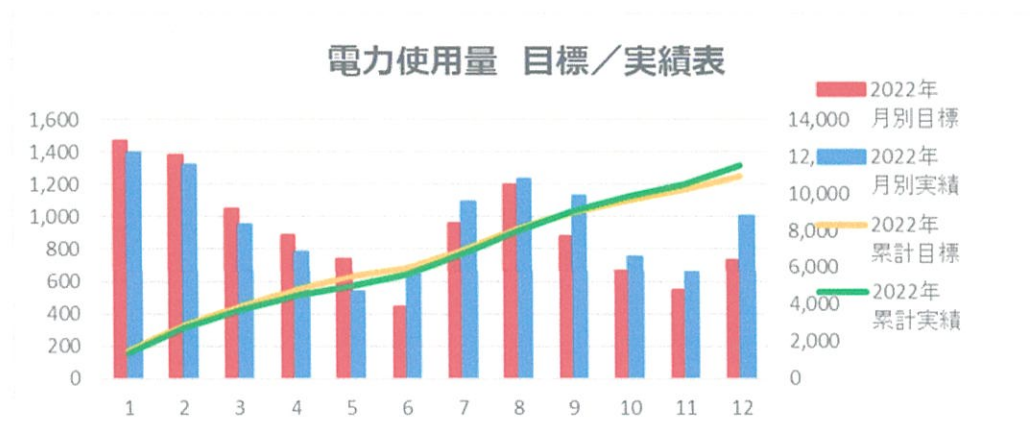
今期の取組内容

【令和4年1月～令和4年12月】

1. エアコンの温度管理(夏期28℃、冬期23℃)
2. 扇風機の効果的な利用
3. クールビズ・ウォームビズの推奨
4. 残業時間の短縮
5. PC・蛍光灯の不使用时電源OFF



項目	単位	基準値 15年実績値	22年目標値 (-7%)	22年実績値	達成度および削減(増加)率	
二酸化炭素 排出量の削減 (購入電力)	kWh	11,767	10,943	11,504	△	-2%



今期の活動実績と評価

残業時間の短縮を目標に、業務の効率を落とさずに活動が出来たと思います。猛暑日、真夏日、冬日なども多く、設定温度を超えることもありましたが、その分、扇風機やひざ掛けなどをもっと有効的に使用したり、服装の厚さを柔軟に変えていくことが必要だと感じました。不要照明の消灯に関しては、事務所全体に徐々に浸透し、徹底できたと思います。

次年度の取組内容

現在の活動を継続すると共にエアコンの効率を上げるために、体調を崩さない範囲内で個々の対応を進めていきます。

『ガソリン使用量』削減への活動・取組

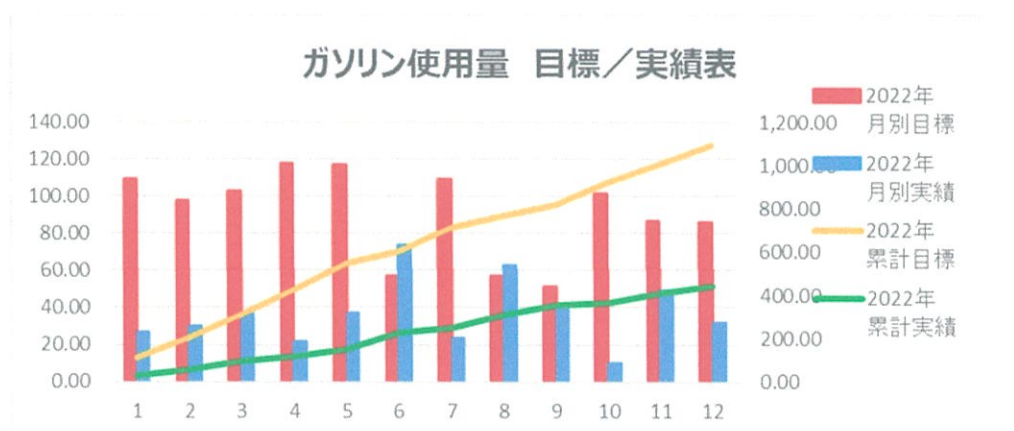
今期の取組内容

【令和4年1月～令和4年12月】

1. 急発進・急停車・アイドリングしない
2. 外出時のルート確認
3. 外出先・スケジュールの管理と共有



項目	単位	基準値 15年実績値	22年目標値 (-7%)	22年実績値	達成度および削減(増加)率	
二酸化炭素 排出量の削減 (ガソリン)	L	1,175	1,093	444	○	-62%



今期の活動実績と評価

コロナ禍から外出自体の減少を心掛け、電話やメールでの連絡、対応が顧客にも徐々に浸透してきています。

下準備の徹底により、一度の打ち合わせの内容を充実できたため、一度の外出の効率が上がりました。窓口申請のみの場合を除き、オンライン申請や郵送での申請も活用できています。

次年度の取組内容

現在の活動を継続すると共に、最短ルートの検討と実行に徹底して参ります。

『紙廃棄量』削減への活動・取組

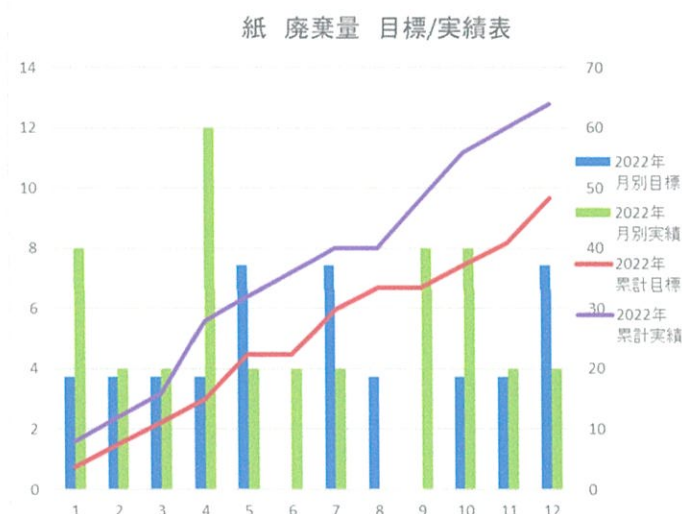
今期の取組内容

【令和4年1月～令和4年12月】

1. 印刷出力時プレビュー確認の徹底
2. 重複出力のないようメール・FAXの出力報告
3. コピー用紙の両面使用
4. 2in1コピーの推奨
5. 資料の簡素化(資料枚数の削減)



項目	単位	基準値 15年実績値	22年目標値 (-7%)	22年実績値	達成度および削減(増加)率	
廃棄物排出量 の削減 (白上質紙)	Kg	52	49	64	×	23%



今期の活動実績と評価

繁忙期の仕事量増大に加え、コロナ禍による手続きの増加により、絶対量が増えたため、廃棄率は上がっていないと思われます。既に導入済のグループウェア、複合機の効果はでていきますので、日常業務内の取り組みを所内に浸透してきています。

次年度の取組内容

現在の活動を継続すると共に、オンライン申請に対応しながら、資料のデータ管理化を目指し、紙の使用量を減らし、紙廃棄物量の削減を目指します。

環境関連法規の遵守状況、違反・訴訟の有無

確認日 令和5年7月21日

法律・条令・規則	条・項	要求事項・責務	具体的確認事項	遵守状況
環境基本法	第8条	公害防止・自然環境保全 廃棄物の適正処理 再資源などの利用 国・地方公共団体の政策に協力	エコアクション21への積極的 取り組み	◎
循環型社会形成推進基本法	第11条	廃棄物の発生抑制 循環的利用 適正処分 国・地方公共団体の政策に協力	3Rへの努力	◎
地球温暖化対策推進法	第5条	CO2発生抑制 国・地方公共団体の政策に協力	エコアクション21への積極的 取り組み	◎
フロン排出抑制法		特定製品のフロン類のみだり放出禁止 冷媒管理の徹底	貸主への確認	◎
廃棄物処理法	第1条	廃棄物の排出抑制、適正な処理 生活環境の清潔維持により、生活 環境の保全と公衆衛生の向上		◎
自動車リサイクル法	第8条	引き取り業者への引き渡し	対象なし	◎
グリーン購入法	第5条	出来る限り環境物品等を選択 するよう努める		◎

- ①当社に関わる環境関連法規に関して遵守確認した結果、違反はありませんでした。
- ②過去3年間、関係機関からの指摘・訴訟等はありませんでした。

令和 5年 7月 21日

環境管理責任者： 加藤 耕輔

代表者による全体の評価と見直し・指示

	代 表 者		作 成 者		作 成 日	
	望月 敬介		加藤 耕輔		令和 5年 7月 21日	
前期見直し指示 への取組結果	見直し指示内容			取組結果		
	1	顧問先へのエコアクション21導入促進		相談は受けながらも、取得までには至らなかった。 取り組みは引き続き進めていく。		
	2					
	3					
	4					
今期見直しの ための取組 確認結果	項目			確認	: 必要に応じて評価・コメント記載	
	1	エコアクション21文書		■	:	
	2	環境目標及び目標達成状況		■	: ガソリン使用量は減少、電気使用量は増大している	
	3	環境活動計画及び取組実施状況		■	: 社内全体への環境意識が年々浸透してきている	
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況		■	: 関連法規の遵守を日々徹底している	
	5	外部コミュニケーション・対応記録		■	:	
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況		■	: 緊急時の対応策を事前に行っている	
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向		■	:	
	8	その他()		■	:	
今期全体評価・ コメント・ 見直し指示	コメント 全体評価		環境経営システムの有効性、 環境への取組の適切性等		現在の環境経営システム・取組を維持し、年間の燃料使用量の削減を実施できました。電気使用量及び紙廃棄量が増えているため、現在の活動を継続すると共に、電気については体調管理と空調管理の徹底、紙については資料のデータ管理化を目指し、紙の使用量を減らし、紙廃棄物量の削減を目指す。	
	代表者による 見直し指示	項目		見直しの 必要	「有」の場合の指示内容等	
		1	環境方針	無		
		2	環境目標・計画	有	クールビズ・ウォームビズの推進	
		3	環境活動計画・取組項目	有	オンライン申請等の積極的な導入による紙使用量・廃棄量の削減	
		4	環境に関する組織	無		
		5	その他のシステム要素	無		
		6	その他(外部への対応)	有	実施できていない当社顧問先へのエコアクション21の導入を促進することで、経営の効率化・コストダウンの実現を図り、環境経営の推進に貢献していく。	